第 579 回（オンライン）

考古学研究会　岡山 1 月例会のご案内

堂免遺跡の発掘調査／飯岡廃寺の試掘調査成果

2027 年 1 月 16 日（土）14 時～16 時 30 分

❑ **Zoom を利用したオンラインで開催します ！**

【会　場】オンライン開催

【参加費】400 円　**※Peatix にて申込・お支払いください。詳細は下記にて。**

■報告 1

江口　直輝（瀬戸内市）　**「堂免遺跡と弥生時代の千町平野」**

堂免遺跡は、瀬戸内市役所の建設に伴う過去の発掘調査で、弥生時代から鎌倉時代にかけての住居跡や方形周溝墓などが確認された集落遺跡である。

令和 7 年、市役所西側隣地での施設建設に伴い、新たに本遺跡の発掘調査が行われた。その結果、おもに弥生時代前期から中期にかけての溝、中期の住居跡や井戸、古墳時代前期の井戸、奈良時代から平安時代の条里制に伴うと考えられる溝などを検出し、各時代の土地利用の変遷を明らかにできた。

今回の発表では、発掘調査の成果を報告するとともに、過去の周辺調査も踏まえ、門田貝塚（国史跡）をはじめとした千町平野における弥生時代の集落分布について考察する。

■報告 2

田中　清美（美咲町）　**「鷲山山麓遺跡（飯岡廃寺）の試掘調査成果」**

久米郡美咲町飯岡の鷲山山麓遺跡内の旧飯岡小学校地で、令和 7 年度にコミュニティセンターの建設に伴い試掘調査を行ったところ、飯岡廃寺の所在地を確定しうる瓦溜りを確認した。ここから単弁十二葉蓮華文軒丸瓦および平城宮 6663 型式系均整唐草文軒平瓦を採取した。前者は岡山市北区の富原北廃寺の軒丸瓦と同笵であり、後者は瀬戸内市の須恵廃寺に酷似するものがあった。白鳳末期から奈良時代後半期の寺院跡とみられる飯岡廃寺の軒瓦や平瓦・丸瓦の実態および美作の古代寺院の軒瓦との関係について若干の検討をしたい。

▼オンラインの参加

【定　員】先着 100 名（**オンラインは、事前申込みが必要。参加費 400 円**）

【申込先】オンラインで参加ご希望の方は、次の URL 等から申込みしてください。

https://peatix.com/event/5288807

（当会ホームページ＞岡山例会からも申込みできます。）

(モバイル用)

【申込締切】１月１４日（木）19：00

※peatix で申込み後、「イベントに参加」をクリックして **zoom** の事前登録を行っていただいたら、**zoom** ミーティング **ID** 及びパスワードなどをメールにて送信します。

申込み後、チケットをキャンセルされる場合は、peatix イベントページか、チケット画面から問合せください。キャンセルされる場合、申込者に返金手数料が発生することをご了承ください。

【問合せ先】考古学研究会事務局　〒700-0027 岡山県岡山市北区清心町 16-37 長井ビル 201　TEL・FAX 086-255-7840
［ホームページ］https://kokogakukenkyukai.jp/　［公式 X / 旧 Twitter］@kokogakukenkyu
［岡山例会アドレス］okayama_reikai@yahoo.co.jp